

国内・海外

○印：国内関係 ☆印：海外関係

2日(月)○ 6月短観、5年半振りに2期連続悪化

日本銀行が6月の企業短期経済観測調査を発表。大企業製造業の景況感を示す業況判断指数(DI)が3月比3ポイント下落のプラス21と2四半期連続悪化した。2期連続の悪化は5年半振り。

9日(月)○ 5月の経常黒字、2カ月振り増加

財務省が5月の国際収支速報を発表。海外とのモノやサービス、投資の取引を示す経常収支は1兆9,383億円の黒字(47カ月連続)で、黒字幅は前年同月比14.5%増加。増加は2カ月振り。

11日(水)○ 5月の機械受注、2カ月振り減少

内閣府が5月の機械受注統計を発表。設備投資の先行指標である船舶・電力を除いた民需の受注額(季節調整値)は、4月比3.7%減の9,079億円となった。2カ月振りの減少。

27日(金)☆ 米GDP、4.1%成長

米商務省が2018年4~6月期の実質国内総生産(GDP、季節調整済み)の速報値を発表。年率換算で前期比4.1%増と前期(2.2%増)から大きく加速した。14年7~9月期(4.9%)以来の高い伸び。

31日(火)○ 有効求人倍率1.62倍、44年半振り高水準

厚生労働省が発表した6月の有効求人倍率(季節調整値)は、5月比0.02ポイント上昇の1.62倍だった。1974年1月(1.64倍)以来44年半振りの高水準となった。

県内・九州

★印：県内関係 ●印：九州関係

2日(月)★ 県内路線価の平均変動率、前年比0.7%増

長崎税務署が2018年の県内路線価(1月1日時点)を発表。調査地点の平均変動率が前年比0.7%増となり、26年振りにプラスに転じた。

5日(木)● 百貨店・スーパー販売額、4カ月振り減少

九州経済産業局が発表した5月の九州・沖縄の百貨店・スーパー販売額(速報値)は、全店ベースで前年同月比2.1%減の1,211億円にとどまった。減少は4カ月振り。

11日(水)● 九州鉱工業生産指数、4カ月振り低下

九州経済産業局が発表した5月の九州鉱工業生産指数(2010年=100、季節調整値)は、4月比3.8%減の109.8となり、4カ月振りに低下した。

24日(火)● 九州寄港クルーズ船、15.3%減

九州地方整備局は、18年上半期(1~6月)の九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数(下関港を含む)が、前年同期比15.3%減の455回だったと発表した。5年振りの前年割れ。

31日(火)★ 県内の有効求人倍率、1.26倍

長崎労働局が発表した6月の県内有効求人倍率(季節調整値)は、1.26倍で5月比0.04ポイント上昇した。2カ月連続1.2倍台、28カ月連続で1.1倍以上(過去最長)、33カ月連続で1.0倍以上。